

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870600750
法人名	株式会社 ジェイコム
事業所名	グループホーム丹原の郷
所在地	愛媛県西条市丹原町池田1267番地1
自己評価作成日	平成22年6月16日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年6月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホーム内の行事だけでなく、地区の農園へすもも狩や柿狩りなどに出かけ、季節感を味わっていただける様、配慮している。また、地域の行事にも参加しており、丹原町商店街の七夕祭りに七夕飾りを作り協賛している。日常生活では、下膳や居室のそうじ機かけなど、自分でできることはしていただけるよう支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

職員のアイデアで、食後の下膳がしやすいように、食器を入れるかごを準備して、ご自分で下膳が続けられるようにされていたり、壁面飾りやケア等もアイデアを出し合い決めておられる。昨年度は、職員の勉強会に力を入れて取り組まれており、全職員で認知症の理解を深めたり、介護技術の習得等にも取り組まれた。

月に1回、市の栄養推進委員会があり、調理実習等もあって、習った料理やおやつを事業所のメニューに採り入れておられる。

利用者は、特に夜間時にご本人の思いを話して下さるようで、職員は、ゆっくりと利用者の思いに寄り添うようにされている。又、さみしそうな表情の利用者には、お話を聞く時間を取るようになっている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム 丹原の郷

(ユニット名) 北町

記入者(管理者)

氏名 山内 美登里

評価完了日 平成22年 6月 16 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 掲示や名札の裏に記載しており、日々実践できるように努めている。	
			(外部評価) 理念の一つに「地域行事に参加しよう」と掲げて、商店街の七夕の飾りの協力をされたり、地域の集まり等にも積極的に参加され、地域と交流する機会を大切にされている。職員個々は、年に2回、個別にケア目標を決めて、それぞれが目標を達成できるよう日々取り組まれている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の七夕祭りに飾りを出品し、見物に行ったりしている。秋祭りや神明祭に参加し、地域の方々と交流を持つように努めている。	
			(外部評価) 事業所では、大輪菊や懸崖菊等を数多く育てておられ、新聞やテレビにも取り上げられている。年々、見物人が増えて、利用者も来客を喜ばれており、菊をきっかけにして事業所のことを知ってもらったり、協力者等も増えてきている。ご近所の方に菊の鉢を飾ってもらえるようお配りしたり、近くの一人暮らしのご老人が事業所に来て、菊を5鉢育てておられたりもする。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 地域の方々からの介護相談を受けている。デイサービス事業所、居宅事業所が併設されているので、地域の方の相談窓口になっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し、家族の方、地区 の公民館長、民生委員、市役所、消防署の方たち、また、 利用者の方にも交代で参加していただいている。行事の写 真などを利用し、報告している。家族や地域の方からの意 見を伺い、サービスの向上に取り組んでいる。</p> <p>(外部評価) 会議には、昨年度から公民館長の方の出席をいただき、 地域行事の案内等もよくしてもらっている。ユニットごと に、ご家族が1名ずつ出席されており、事業所を利用して の感想等を話してもらったり、利用者も出席されて食事 への要望等も出されている。防災や外部評価等、事業所 の行事や活動等を報告して参加者から意見を聞くように されている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 管理者が対応している。市担当者との情報交換を常に 行っている。運営推進会議や施設で行っている行事 (花見、菊見会など)に参加していただけるように案内 している。</p> <p>(外部評価) 介護相談員の方が月に1回来られ、気付いたことを話 して下さっている。月に1回、市の栄養推進委員会があ り、調理実習等もあって、習った料理やおやつを事業 所のメニューに採り入れておられる。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準にお ける禁止の対象となる具体的な行為」を正 しく理解しており、玄関の施錠を含めて身 体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 日常的に身体拘束の必要はない。日中は利用者の状態 や希望に応じて戸外で過ごしたり出来るよう取り組ん でいる。 身体拘束についての研修に参加し、理解を深めてい る。</p> <p>(外部評価) 外部研修で職員が身体拘束について勉強したことをも とに、事業所内で職員の勉強会をされたり、管理者 は、日々の中で職員に身体拘束をしないケアの大切さ を話しておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会、朝、夕の申し送りの時などに話し合っている。 高齢者虐待防止の勉強会に参加し、学ぶ機会を持っている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修に参加し、勉強会を開いて理解を深めるようにしている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者が行っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議を開いて、市職員や民生委員、地区役員、家族、利用者と一緒に話す機会を設けている。 (外部評価) 「事業所通信」や「日常生活報告書」を毎月送付して、事業所の様子やご本人の状態について報告をされている。ご家族の来訪時、職員はご家族と話す機会を持ち、ご本人の普段の様子を伝えて意見をうかがっておられる。花見や敬老会、クリスマス会等にはご家族も招き、ともに楽しむ機会を作っておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 年1、2回管理者が職員と個別に話す機会を設けている。申し送り時や、勉強会で意見や要望を述べている。	
			(外部評価) 職員のアイデアで、食後の下膳がしやすいように、食器を入れるかごを準備して、ご自分で下膳が続けられるようにされていたり、壁面飾りやケア等もアイデアを出し合い決めておられる。昨年度は、職員の勉強会に力を入れて取り組まれており、全職員で認知症の理解を深めたり、介護技術の習得等にも取り組まれた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 年1回、会社の総会が開催されている。管理者が職員一人一人と話し合う機会を設けている。職員の資格習得を支援し、勉強会を行ったりしている。資格習得した職員には、総会で表彰や、報奨金を授与している。	
			(外部評価)	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 月1回勉強会を行っている。内容も職員から希望をとり、年間の予定を立てている。施設内外の研修も研修予定表にて受講を希望している。	
			(外部評価)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) グループホーム連絡協議会東予地区の研修に参加し、地域の同業者と交流する機会を持っている。他のグループホームとのネットワーク作りを行いサービスの向上へとつなげて行けるよう努めている。	
			(外部評価)	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 管理者が入居前より本人、家族より情報を収集し、馴染みの関係作りに努めている。併設のデイサービスやショートステイを利用するなどし、ホームに慣れていただけるように支援している。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>管理者が対応しており、家族からの相談を受け、意見や要望を聞いている。家族の気持ちや家庭状況などを職員に伝えており、良い関係作りができるように努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人、家族から話を聞き、困っていることや緊急性などを勘案して、改善に向けた支援を提案をしている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>生活しているその場、その時々で一緒に感じあえるように努めている。漬物の漬け方、野菜の下ごしらえの方法等を教えてもらい、感謝や労いの言葉を伝えている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族の方に利用者の日々の様子を伝え、どのような関わり方をすると利用者がより生き生きと暮らせるかなど話し合い、協力しあえる関係作りに努めている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域の敬老会に参加を希望される方には家族の了解の下参加していただけるよう支援している。併設のデイサービスに知り合いの方がいられている時は話が出来るように支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者が事業所の窓から見える山を見て、以前登ったお話をしてくださったり、地元の人には懐かしい国民休暇村にお茶を楽しみに出かけることもある。お友達が来られた際には、居室でおしゃべりが楽しめるようにお茶等、気配りをされている。</p>	<p>さらに、利用者個々の行ってみたい場所や懐かしいところ等を訪ねるような支援もすすめてみてはどうか。ご本人の思いの把握をすすめて、又、ご家族のご理解やご協力をいただけるよう、働きかけ等も工夫されてみてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 食事の席は、利用者同士が関わりを持てるように考え、定期的に席を替えている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院された方がいれば、お見舞いに行ったりして、関係が継続できるように努めている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の暮らしの中から、思いや希望を聞きだし、一人一人の思いを把握できるように職員間で話し合っている。また、声かけしたり、表情からも本人の思いをくみ取るように努めている。 (外部評価) 利用者は、特に夜間時にご本人の思いを話して下さるようで、職員は、ゆっくりと利用者の思いに寄り添うようにされている。又、さみしそうな表情の利用者には、お話を聞く時間を取るようにされている。	さらに、現在はご本人の情報を大まかに収集されているが、さらに具体的な情報の蓄積に努め、介護計画につなげていかれてほしい。利用者個々の意向等を引き出せるような声かけを工夫されたり、又、情報を集める書式等の工夫も重ねていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族や利用者から生活環境、暮らし方を聞いている。また、普段の会話の中からも情報収集に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) その日、その時の様子がわかるように記録している。体調変化や精神面でいつもと違う所を注意し、申し送りを密にするようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者、家族の方から思いや意見を聞き、また、毎日の生活の中から得た情報をもとに話し合い、介護計画の見直しを検討し作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人やご家族の要望、職員の気付き等を踏まえて、ユニットごとの計画作成担当者が利用者個々の介護計画を作成しておられる。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の様子や利用者の発言、他の利用者との関わり方や、体調変化やケアの内容などを具体的に記録している。毎月カンファレンスを開き記録を背負う生かしている。職員の気づいたことや、利用者の変化は申し送りノートを活用し、職員間で情報を共有できるように努めている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>状況に応じて、ショートステイや通所介護を行い、利用者や家族の要望に沿ったサービスを行っている。病院受診、買物など必要な支援は家族と相談して対応している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>歌や踊りのボランティアが定期的に来訪し、利用者の方は楽しみにしている。また、地域の文化祭、運動会にも出かけている。消防署の協力のもと年2回の消防避難訓練を実施している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価) 本人や家族と話し合い、希望する病院を受診できる ように支援している。家族の方が同行できない時は、職 員が同行し受診している。グループ内の医療機関の医 師がかかりつけ医となっている方が多く、週1回の定期 的な往診を受けている。近隣の病院も協力してくれて いる。</p> <p>(外部評価) 利用者の体調や状態等については、医師に相談して受 診した方が良ければ、ご家族に相談して受診支援をさ れている。専門医等の受診についてもご家族等と相談 しながら支援されている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価) 看護職員を配置している。利用者の健康状態を知って おり、体調不良などの時には相談でき、適切な対応が 行えている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) 入院時に、利用者の普段の状況や支援方法に関する情 報を医療機関に提供している。主に管理者が家族、医 師と相談しながら早期退院に向けて話し合いを行って いる。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 管理者が早い段階から家族、協力医療機関の医師と話 し合い、意見を聞き連携をとっている。また、体調に 変化が見られた時などには、繰り返し話し合う機会を 設けている。</p> <p>(外部評価) 事業所は、利用者ご本人の状態や実情に合った適切な 施設で支援を受けられるように、ご家族等とも話し合 いながら支援されており、時にはご家族の近くにある 介護施設を紹介されることもある。入居時には、入浴 設備等、重度化した際の支援に制限があることを説明 し、了承の上で入居するようになっている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) マニュアルを作成している。消防署の協力を得て、応急手当や初期対応の研修、訓練を行っている。また、実演を交えて学習している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 消防署、近隣の方たちの協力を得て避難訓練、避難経路の確認、消火器の使用方法などの訓練を定期的に行っている。(年2回)運営推進会議においても協力をお願いをしている。 (外部評価) 4月には、スプリンクラーを設置され、近所の方も参加して避難訓練を実施された。近所の方達に利用者の避難誘導等をしてもらったり、地域の方も含めた連絡網を整備されていた。台所のガスコンロは、職員が離れる時には火を消すことに気を付け、又、職員の喫煙場所も決めて、火を出さないよう気を付けておられる。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 言葉使いには十分注意し、本人を傷つけないように努めている。更衣、排泄、入浴などさりげない声かけを心がけている。主介護者以外にはプライバシーに関することは絶対に話さない。 (外部評価) トイレや居室で介助する際には、ドアを閉めて行うよう気を付けておられる。調査訪問時には、食後に職員がさりげなくつまようじを準備されたり、職員は、利用者に笑顔でゆっくりと話しかけておられた。利用者同士の関係等を踏まえて、時にはユニット間で利用者が異動することもある。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 自分から希望の決定をあまりされない方には複数の中から選らんでいただいている。本人の気持ちをできるだけ理解するように努め、利用者の方ができる限り、納得しながら暮らせるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者への声かけを密に行い、ちょっとした言動も見逃さないようにして対応している。その時の本人の気持ちを大切に生活をしている。散歩などの距離も個々のペースに合わせている。家族や面会者との会話などからも本人の気持ちをくみ取るよう努めている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 利用者との会話やご家族との話の中からその人らしさを見出し支援している。散髪の希望があれば理美容師(有償ボランティア)に来てもらって、自分の好みの髪型にしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 野菜を切ったり、食事の下ごしらえ、盛り付けをするなど、利用者それぞれが自分の出来ることを皆で助け合っている。職員は同じテーブルで食事を取っている。 (外部評価) 併設デイサービスで献立を立ててくれるようになっており、旬の食材を利用して、利用者は野菜の下ごしらえをする等、事業所で調理されている。月に2回は、利用者の希望するメニューを採り入れておられ、ユニットによっては、焼き肉や握り寿司も楽しんでいる。又、事業所で室内運動会を行った際の賞品をユニットごとにリクエストできるようになっており、利用者の意見で果物やお肉等を希望されたようだ。食前に、飲み込みが良くなるように、歌を歌いながら体操をされている様子がうかがえた。事業所の菜園で採れた野菜が食卓に上ったり、梅やらっきょを漬けておられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 献立表にそって食事作りをしている。利用者の好みも取り入れて食べやすい物を工夫している。また、水分量、食事をチェックし、熱計表に記録している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアと週2回の義歯の洗浄剤を用いて消毒を行っている。利用者一人一人の力に応じた口腔ケアの介助を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)		
			排泄記録をつけ、時間や習慣を把握し、トイレ誘導をすることでトイレでの排泄を促している。		
			(外部評価)		
			利用者個々に記録を付けて排泄の誘導をして、トイレで排泄できるように支援されている。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)		
			便秘の予防として、利用者の排便状態を把握し、ヨーグルト、センナ茶を飲んでいただいたり、廊下歩行や散歩など体を動かすことを取り入れている。		
			(外部評価)		
			利用者に合わせた声かけや、好みの湯量や温度を聞いている。体調にあわせ、入浴を控えていただいたり、足浴なども行っている。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)		
			利用者に合わせた声かけや、好みの湯量や温度を聞いている。体調にあわせ、入浴を控えていただいたり、足浴なども行っている。		
			(外部評価)		
			入居間もない頃、入浴を嫌がられる利用者には、職員が一緒にお風呂に入ったこともある。現在は、午後から入浴するようになっており、毎日入浴する方や1日おきに入浴する方、体調等もみながら支援されている。入浴剤を使用したり、ネットを使って石鹸を泡立てて顔を洗い、化粧水を付ける方もいる。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中はリビングで過ごしたり、利用者同士で談話し、くつろがれている。入眠前にはホットミルクを飲んだり、音楽を聴きリラックスできるようにしている。		
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 投薬ファイルを作成し、職員が内容を把握できるようにしている。投薬時には本人に手渡し、きちんと服用できているか確認している。薬の処方や用量が変更されたり、状態変化が見られる時はいつもより詳細な記録をとっている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 食事作り、梅干し、干し柿作りなど利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。また、花の好きな方は庭で花を摘んだり生花教室に参加を勧めている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 季節ごとの花見に出かけたりすることで、季節を肌で感じてもらい心身の活性につながるよう日常的にも散歩や外気浴したりして気分転換できるよう支援している。ドライブ時にお弁当を持って行き、戸外で食べる楽しさも感じていただいている。	
			(外部評価) 毎日、午前中散歩されたり、時には、靴等の買い物に行くこともある。受診等でご家族と受診に付き添われた際には、外食して帰られる方もある。季節の花を見に出かけたり、地域の行事等にも積極的に参加されている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 施設内でお金を使う機会は、パン屋さんが来たときぐらいである。個別に必要な時は、立替支払いを行っている。個人のお金や財布は事務所の金庫で預かり必要な時にお渡しするようにしている。現金は家族や本人納得の上管理させていただいている。買物時には見守りしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話への対応が出来る方には電話に出て頂いている。毎年、年賀状や暑中見舞いを出す為、ハガキを用意している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>季節の花を飾ったり壁飾りを毎月変えたり、居心地の良い空間作りをしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>折り紙や布を使ってアジサイやかたつむりの飾りを作って掲示されていたり、玄関やユニット入口等、各所に季節のお花を生けておられた。居間には畳のスペースがあり、洗濯物を畳んだり、ちょっと横になって過ごされている方もあった。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>陽当たりの良い所にソファを置いたり、戸外に椅子やテーブルを置いてくつろげるスペースを設けている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>前から使っていた家具を持ってきたり、家族からのハガキや写真を貼ったりしている。施設の椅子、ソファを自由に使ってもらえるように部屋に配置している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>コルクボードに写真やお手紙を貼ったり、ご家族のお位牌を持ち込まれている方もある。又、窓には日よけのすだれを掛けておられるところもあった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>テレビの上に日めくりを作り、利用者がめくれるようにしている。自室には表札を作っている。トイレや浴室にはよく分かるように表示している。</p>	